

# Approach of Dream

～夢にむかって～

1月号

## 2007年理事長基本方針

第47代理事長 岡田康志

### はじめに



私達の運動は、修練・奉仕・友情の JC 3 信条のもと、明るい豊かな地域社会の実現を目指すものであります。社会環境・自然環境・青少年育成など様々な問題を「まちづくり」の視点でとらえ、青年リーダーの集まりである我々に求められているものは何なのかを見極め、そして行動に移すことこそ青年会議所運動であると思います。夢（目的）への道を皆で歩いて行きたいと思います。

### 会員拡大

組織力を持って青年会議所運動を展開して行くには、会員の拡大が急務となっています。しかしここ数年、会員拡大の必要性を連呼し続けていて、何故会員の減少に歯止めが掛けられないのでしょうか。私が入会させていただいた頃には魅力ある先輩方が大勢おられ、その先輩方のようになれたらと憧れたものでした。会員の拡大には「より魅力ある JAYCEE」による「より魅力ある JC」へと変わる必要もあると思います。（社）西大寺青年会議所のメンバーであることに誇りを持って、全員で会員の拡大を行いましょ。

### 青少年育成

未来の日本そして地域社会を創造する上で、青少年の育成は最重要課題であると思います。

青少年による犯罪が多発している昨今、特に目に付くのが普通の少年による凶悪事件です。ときには、自分の家族の命さえも奪ってしまうような暴力事件が後を絶ちません。

我々はそんな少年たちの親世代でもあります。子どもたちに命の尊さを教え、親をいとおしむ心を伝えるのは私たちの義務なのです。そして、そういった姿を子どもたちに見せる事こそが、最重要なのではないでしょうか。

## 魅力あふれる街づくり

「あなたの住んでいるまちの魅力を教えてください。」と聞かれた時にどのように答えるでしょうか。意外と難しいことに気付きます。

(社)西大寺青年会議所の活動エリア(ブルーエリア)には、歴史と伝統そして素晴らしい自然が今も残っております。魅力とはこれから創ることも可能ですが、今ある魅力を発掘し活かす方が容易であり、地域の個性も出やすいと考えます。「魅力あるまち」とは、「住んでみたいまち」「訪れてみたいまち」「伝統のあるまち」「ブランド化されたまち」「産業のあるまち」等々いろいろありますが、ブルーエリアを魅力であふれたまちにすることによって、定住者も増え、活気のあるまちにすることが出来ると思います。

2009年には第26回全国都市緑化おかやまフェアが西大寺で開かれようとしております。

ブルーエリアの魅力を全国にPR出来るチャンスです。多くの魅力を発掘し活かしていこうではありませんか。そして、ローカルマニフェストでもありますブルーエリア宣言にそったまちづくりを行いたいと思います。

## 最後に

現代社会は、夢を失いニート化する若者、夢もなくフリーターになる若者を大勢生み出してしまいました。そして少子化の加速という誰もが他人事ではすまされない問題もその延長線上にあるのです。

「夢を実現させるには、夢を持つことである」と言われています。我々には夢があります。そして夢(目的)に向かって歩みたいと思います。

## 2007年度役員紹介



### 直前理事長 中村千晃

新年あけましておめでとうございます。昨年は、理事長として、一年間皆様方にご支援、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。今年は岡田理事長のもとメンバーとしてバックアップしていきたいと思います。また、岡山ブロック協議会に監事として出向させていただきます。少しでも何かを西大寺青年会議所に持って返り皆様のお役にできればと思います。最後の年になりましたが全力で頑張ります。どうか皆様方におかれましては、昨年私にいただいたご厚情に増して、本年度もご指導、ご鞭撻宜しく申し上げます。

そして、皆様方のご活躍、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



### 専務理事 松本和生

新年明けましておめでとうございます。今年度、専務理事をさせていただきます。

初めての、総務委員会担当ということで、なかなか分からないことばかりだとは思いますが、精一杯努めていこうと思います。特に今年から、会計システムが変わってくるようになっていきます。しっかり片岡委員長と一緒に勉強していき、メンバーにとって分かりやすいものにしたいと思います。また、LOM内の連絡調整を図りメンバー全員が一丸となれるよう指定期待と思っています。

まずは、委員会が一丸となれるように、片岡委員長とがんばりたいと思いますので、1年間よろしくお願ひします。



### 副理事長 岡本光生

2007年度副理事長をさせて頂くことになりました岡本光生と申します。

理事のご指名を頂いてから日のない私ですが、大役を頂、私に務まるかどうか不安を覚える反面、執行部と委員会とをつなぐ大切な役目を自分なりにしっかりと果たしていかなければならないと思っております。

昨今の会員数の減少、それにとまなう各委員会の受け持つ事業の増加と現状はたいへん厳しいです。また、これからの数年でLOM内の人員構成が、入会して若い世代が主力となる、大幅な転換期を向かえる西大寺青年会議所にとって、今、もっとも気を配らなければならない事は、諸先輩方が行ってこられた事業の意義を知りそれらを大切にしていこうと考えています。

経験不足な私ですが、皆様からのご協力なしに副理事長の大役を果たせないと自覚しております。諸先輩方、関係各位の皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。



### 副理事長 花島功一

私は1年の抱負と言うよりも、今後死ぬまで真剣に考えていかなければならない、人生の抱負とも言うべきものを述べさせていただきます。

今世界で最も深刻な問題として考えられるのは環境問題ではないでしょうか。

20世紀の間に世界の平均気温は0.6度も上昇し、氷河などの融解によって海面は10cm～20cm上昇しました。2100年には、

気温は 1990 年から更に 1.4~5.8℃上昇し、海面は 9~88cm 上昇すると予測されています。感染症の蔓延、加速する砂漠化、洪水や高波、病害虫の増加、食糧難、生物の絶滅・・・。科学は進歩する一方で弊害は多大なものとなってしまいました。

私たち西大寺青年会議所のブルーエリア宣言の 1 番最初に「吉井川の恵を受け、自然と共生する、緑豊かな憩いと癒しのまちづくり」とあります。私はこれを絶対に忘れてはならない誓いであり、実行されなければならないと思います。

ただ、1 人ではどうする事も出来ません。意識し、感謝し、守り、これを皆でする事を伝え続けて行かねばならないと思います。

少年裸祭り、吉井川フェスタ、これらから生み出されるメッセージ、それは「自然の恵、尊い生命への感謝」であり何ものでもないと思います。

後世の子供達これを伝えて生きたいです。



#### **副理事長 麻岡正義**

本年度、副理事長を務めさせていただきます。

担当委員会は、広報渉外委員会と親睦研修委員会です。広報渉外委員会では、(社)西大寺青年会議所の J C 運動を皆様に知っていただけるよう、記録と広報誌の発行に力をいれていきたいと思っています。

親睦研修委員会では、メンバーの多くが新会員という現状を踏まえ、(社)西大寺青年会議所のよき伝統を伝え、メンバーの親睦を図っていききたいと思います。

個人的には、J C 生活もあと 1 年となりました。悔いのない 1 年にしたいと思います。1 年間よろしく願いいたします。



#### **総務委員会 委員長 片岡直孝**

新年あけましておめでとうございます。本年度、総務委員長を務めさせていただくこととなりました。なにぶんまだキャリアも浅く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯努めさせていただきます。

本年度は新会計制度への移行期ということであり、今後の青年会議所運営にとって非常に大切な年であります。総務委員長として連絡会議等で収集した情報、また勉強したことをフィードバックするという大事な仕事があり、年間通じて会議所運営に常に関わっていくということで非常にプレッシャーと同時にやりがいを感じております。

何卒、よろしく願いいたします。



### **地球ふるさと委員会 委員長 塩崎鉄司**

新年、あけましておめでとうございます。本年度、地球ふるさと委員会を担当します塩崎鉄司です。

地球ふるさと委員会は第36回少年はだか祭り、青少年の育成を考える事業、卒業式の企画運営等を行ってまいります。

何分、入会3年目で始めての委員長という大役をいただきましたので、皆様にご迷惑お掛けするところだと思いますが諸先輩方の築かれた伝統を引き継いでいけるよう努めていきたいと思っておりますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。



### **地球市民委員会 委員長 坪井綾広**

JC入会まだ2年の私に、地球市民委員長と言う大役をさせて頂くにはまだまだ経験不足だと思っております。

委員として体を慣らし、長年かけて委員長になれば失敗も少なく、皆様の足を引っ張るような事は少ないかもしれません。

ただ、長年勤めて来て失敗をするより、今失敗した方が皆様のお力もお借りし易いですし、恥ずかしさも少ない気も致します。

私は生まれたくて生まれたのでは無く、今日生きている事も、出会う人も、全て意味があって「与えられた命」だと思います。西大寺青年会議所、これも与えて頂いた人生の1試練に違いありません。

よくJCに入って何の意味があるのですかと質問されますが、その結果形の良し悪しを判断するのは自分では無く他人であり、JCは結果を出す所では無くその過程だと思っているので断定した事は答えられません。1つ言えるとするなら、5体満足で与えられた能力を、無駄無く精一杯使い、地球市民委員長という立場を一生懸命頑張る事は「自分の誇り」であると思えます。



### **親睦研修委員会 委員長 石井亮**

2007年度親睦研修委員会委員長を務めさせて頂くことになりました石井亮です。

我々親睦研修委員会の事業内容は、新年祝賀会、OB懇親会などの開催運営と新会員の研修・育成が主な事業内容となっております。ここ数年、現役会員における新会員の割合が増えて来ており、現在約半数が3年未満の会員となりました。そして今後も新会員の割合はどんどん増えていきます。我々親睦

研修委員会は研修会、親睦会などを通じて新会員の皆様が現役会員、特別会員、他 LOM の会員の方と親睦を深めていただき、1日も早く1人前の J C マンに成長していただく様、微力ではございますがお手伝いさせていただこうと思っております。今年1年よろしくお願ひいたします。



#### **広報渉外委員会 委員長 片岡剛**

広報渉外委員会の主な活動は J C 運動の記録、当広報誌の発行、会議及び大会の参加協力となっております。一般の方々に我々の活動を理解していただくことは勿論、近年の会員減少に歯止めをかけるために様々な形で広報活動を展開し、会員拡大を図りたいと思ひます。

社会から認められ、自らが青年会議所会員である事を誇りに思えるよう努力していきたくと思ひます。



#### **監事 藤本英俊**

皆様、新年明けましておめでとうござひます。

昨年引き続き、監事を努めさせていただくことになりました藤本です。

わたしにとりましては、ついに今年が J C 生活最後の年となりました。十五年間という長きにわたり、楽しかったこと、辛かったこと、勉強したこと、地域の行事に参加できたこと、友達が県内外にできたこと、ひたすら太り続けたこと、いろいろな思い出がつまった J C を、今年で去ることになりました。堪えきれないさびしさにひたりつつも、たくさんの O B の方々、現役メンバーに方々、各関係団体の方々、それから快く J C へ送り出してくれた家族と、会社の皆さんに心から感謝し、今年一年精一杯取り組んでいきたくと思ひます。

また、昨年できなかったことを思い浮かべ、自分としては監事という立場で、一歩でも二歩でも後ろから、別の角度からの視点で、行動していきたくと思ひます。

今年はなんと地球ふるさと委員会も委員としてかねております。少年はだか祭りなどで微力ながらも頑張っていきたいと思ひます。

ですが、何をどこまで、どのようにやっていけるかは未知数ですが、できることからいろいろな方々に相談し、ご意見を賜りながら自分としての充実した満足のできる一年を過ごしたいと思ひます。

どうか、この一年よろしくお願ひ申し上げます。



### 外部監事 山根祐一

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年度、外部監事をさせていただくことになりました。

昨年、西大寺青年会議所を卒業しましたが、現役時代に一度は経験してみたいと思っていました監事のお話を岡田理事長よりいただき、OBになっても監事ができることにうれしく思っています。例会、役員会での監事講評はOBだからこそ言えることが多くあることと思いますので、監事職を全うしていきたいと思えます。

岡田理事長の基本方針にもありますように、西大寺青年会議所の夢が実現に向かって進んでいきますように監事として、OBとしてお手伝いをしていきたいと思えます。どうぞ、一年間よろしく願いいたします。

## JC 運動の記録



### 1 月例会

1 月 10 日、西大寺商工会議所にて 2007 年度最初となる 1 月例会が開催されました。

理事長の挨拶に続き、各委員会委員長が本年度の事業紹介、本年度の目標などを発表しました。

新年の門出にふさわしい緊張感のある例会となったと思えます。

### 新年祝賀会

1 月 12 日、西大寺グランドホテルにて社団法人西大寺青年会議所 2007 年度新年祝賀会が開催されました。

石井正弘岡山県知事をはじめとする来賓の皆様、友好 JC の皆様、特別会員の皆様に多数ご出席いただきました。

多数の来賓を前に緊張の岡田理事長の挨拶、来賓挨拶と新年にふさわしい厳粛ですがすがしい雰囲気の中に会

は進行し、乾杯の後は、和やかに来場の皆様との親睦を深めることができました。

ご参加の皆様、ありがとうございました。





## 京都会議への参加

1月20日、21日の両日、京都市内で開催された社団法人日本青年会議所京都会議へ参加しました。

会場には全国から多くのJCメンバーが集まり、その熱気には圧倒されつつも、これから1年

間のJC運動への意欲を新たにすることができました。

また、京都市内で開催されたLOMナイトでは、あんこう鍋を囲み参加メンバーの懇親をふかめることができました。

社団法人西大寺青年会議所

広報誌 1月号

発行：社団法人西大寺青年会議所

広報渉外委員会